

村剣道連盟 鏡開き式 少年剣士 心身鍛練を誓う

平成 27 年
第4回定例会号
第102号

2月1日発行
年4回発行



目 次

第4回定例会	〰〰〰〰〰〰	P2~P6
議決結果	〰〰〰〰〰〰	P2~P3
第3回臨時会	〰〰〰〰〰〰	P3
一般質問	〰〰〰〰〰〰	P4~P6
議会の動き	〰〰〰〰〰〰	P7
議会開催状況・編集後記	〰〰〰〰〰〰	P8

お茶の間の議会情報誌

議会通信

Shinshinotsu Village Assembly Information

しんしのつ

平成
27年

第4回定例会

定例会の主な内容

平成27年第4回村議会定例会が、平成27年12月4日から11日までの8日間の会期をもって招集され、初日は、平成27年度各会計補正予算など11件を審議し、全て原案のとおり可決いたしました。

会期中に、行政常任委員会に付託された請願1件、陳情1件を審議し、最終日にその報告を受け、採択いたしました。その後、意見書案2件を審議し、原案のとおり可決いたしました。また、4人の議員から一般質問を行い、閉会いたしました。

予 算

【平成27年度補正予算】

◎一般会計

歳出補正の主な内容、総務費は、(株)新篠津ふるさと振興公社の解散に向けた清算経費等、1億3633万7000円を計上しました。民生費は、養護老人ホーム入所者の措置費として、施設単価の変更により31万8000円を計上しました。衛生費では養育医療給付費に不足が見込まれることから70万5000円を計上しました。

農林水産業費では、再生協議会への事務費補助金として50万円を計上しました。教育費では、中学校教育振興費において、来年度から教科用図書が改定されることから、指導書購入費として8万1000円を計上しました。

今回の補正額は、1億978万円の増額補正となり、予算総額は、36億186万3000円となりました。

今回の補正額は、487万6000円の増額補正となり、予算総額は7億1333万000千円となりました。

◎介護保険特別会計

補正の主な内容は、前年度概算交付された介護給付費の国・道負担金に、精算の結果、返還金が生じたので繰越金を財源として補正しました。

今回の補正額は、224万2000円の増額補正となり、予算総額は3億5777万3000円となりました。

◎国民健康保険特別会計

補正の主な内容は、高額療養給付費及び出産育児一時金を計上しました。

今回の補正額は、224万2000円の増額補正となり、予算総額は3億5777万3000円となりました。

人 事

◎人権擁護委員候補者の推薦について

3月31日で6期目の任期満了となる人権擁護委員の木村良麿氏(中篠津)を引き続き候補者として推薦するため、議会の同意を求めます。

なお、任期は3年です。



木村 良麿 氏

条 例

◎新篠津村税条例等の一部を改正する条例について
地方税法の一部を改正する法律の公布に伴い、本条例を改正するものです。

平成27年度一般会計補正予算など 11件の議案を審議

◎新篠津村しのつ公園キャンプ場施設設置条例の一部を改正する条例について

新篠津村しのつ公園キャンプ場の利用料等の内容を変更するため、本条例を改正するものです。



大勢のキャンパーで賑わう「しのつ公園キャンプ」場

◎新篠津村克雪管理センター条例の廃止について
新篠津村克雪管理センターを廃止したことにより、本条例を廃止するものです。

◎新篠津村第5地区ふれあいセンター設置及び管理に関する条例の制定について

新たに設置した施設について、必要な事項を定めるものです。



完成した第5地区ふれあいセンター

◎新篠津村防災行政無線施設設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について

新篠津村克雪管理センターの廃止及び第5地区ふれあいセンターの設置に伴い、本条例を改正するものです。

一般議案

◎財産の取得について

(株)新篠津ふるさと振興公社の財産一式

【契約金額】

1億7324万4965円

◎新篠津村第5辺地総合整備計画の一部変更について

請願・陳情

意見書の提出を求める請願1件と陳情1件あり、行政常任委員会に付託の上、審議した結果、採択となりました。

件名	提出者及び紹介議員	結果
T P P交渉大筋合意に対する請願書	提出者 新篠津村農業協同組合 代表理事組合長 西井 通泰 紹介議員 新篠津村議会議員 藤永 康夫 新篠津村議会議員 大塚 裕樹	採 択
「介護報酬の再改定を求める意見書」採択についての陳情	提出者 北海道医療労働組合連合会 執行委員長 鈴木 緑	採 択

第3回臨時会 (11月24日)

平成27年第3回村議会臨時会が11月24日に開会され、議案3件を審議し、原案のとおり可決いたしました。

人 事

◎新篠津村教育委員会教育長の任命について

※新制度に基づく教育長に荒谷順一郎氏を任命したことの提案があり、これに同意しました。
任期は平成27年12月1日から3年間で、平成30年11月30日までです。



荒谷 順一郎 氏

【生年月日】

昭和31年6月4日生

【住 所】

新篠津村第47線北9番地

【主な職歴】

別海町立野付中学校校長
新篠津村立新篠津中学校校長

一般議案

◎工事請負契約の変更について

温泉掘削工事請負契約について、設計変更により契約金額に変更が生じたので議会の議決を求めるものです。

【変更前】

1億4040万円

【変更後】

1億4613万9660円

◎指定管理者の指定について

【施設の名称】

新篠津村宿泊研修施設

「しんしのつ温泉たつぷの湯」

【指定管理者】

伊達市北有珠町223番地

伊達観光開発(株)

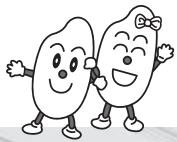
代表取締役 清本 茂

【期 間】

平成28年3月1日から

平成33年3月31日まで

※平成26年の法改正により、教育委員から選ばれていた教育長は、村長が議会の同意を得て任命することになりました。それに伴い、教育委員長は廃止され、その業務は教育長が行います。



～4人の議員から5項目を問う～



**一 般
質 問**

**農業政策、健康増進対策、生活困窮者自立支援対策
除雪対策、人材育成など**



平成27年第4回村議会定例会が12月4日から12月11日の8日間の日程で開催され、議会最終日、4人の議員が質問し、東出村長に答弁を求めました。

○植島議員 質問
村長初め、※村内8団体によるこれまで数回の農業政策を含めた中央要請行動は、大変重要なことである。しかしながら、現在のTPP（環太平洋連携協定）の状況は我が国の国会の承認手続きが終わっており、

Q

TPPを前提とした要望ではなく、農業政策の充実を中心とした中央要請を

A

従来からある制度の拡充・法制化についても政府などに要請していく

**一 般
質 問**

植島 豊 議員

不透明な情勢にある。TPPが発動されるとわが村の基幹産業である農業を直撃し、崩壊を招きかねない大きな問題となる。

よって、TPPが発動されることを前提として要望するのではなく、TPPと切り離して農業政策の充実を中心とした中央要請をしていくべきと考えるが村長の考えを伺いたい。

○東出村長 答弁

TPP関連政策大綱は大筋合意に対する政策であり、今後は個別に内容が示されると思われる。生産者が将来にわたり意欲と希望を持って営農を継続でき、TPPによって住民の暮らしが脅かされることとならないよう、従来からある制度の拡充・法制化などについても政府及び北海道選出国會議員などへ要請していくので、ご理解を賜りたい。

※村内8団体＝村、議会、農業委員会、JA、商工会、各土地改良区（新篠津、篠津中央、新えべつ）

○植島議員 質問
 近年、朝、夕方など道路を散歩している方を多く見かける。
 しかしながら、夕暮れ時、冬道など、危険性を併せもっている。他の市町村の体育館などに設置されている運動器具を保健センターやB&G体育館などに設置にして働く若者から高齢の方まで幅広く利用して頂くことで体力維持にも繋がると思う。気軽に利用ができて効果の上がるような運動器具の設置について村長の考えを伺いたい。

Q

運動器具をB&G体育館などに設置してはどうか

A

B&G体育館の改修工事に併せて、運動器具なども整備したい



B & G 体育館

○東出村長 答弁
 昨年の第4回定例会でも同趣旨の質問があり、意見を伺った中で総合的に判断したいと答弁した。
 その後、教育委員会において、各種団体や住民の意見を伺った中で、健康増進や体力増進の器具の導入については賛成の意見が多かったと聞いている。
 村では、来年度、B&G海洋センター体育館の改修工事を計画しており、改修に併せて運動器具なども整備したいと考えている。
 具体的な器具の種類などは、現在教育委員会を中心に検討しているが、地域住民からの要望を伺った中で若い世代から高齢者までを対象にした総合的な運動器具を導入したいと考えているのでご理解を賜りたい。

○菊地議員 質問
 村内における除雪体制は夜間行われていない。村外に通勤している村民にとって吹雪は危険が伴う。危険箇所を走行したドライバールの情報と村内一円の道路沿線の居住者からの情報を集積及び分析をして、通行不

Q

村内除雪路線の道路情報の集積と提供について

A

村のホームページで情報把握システム構築が可能かどうか検討したい

一般質問

菊地清美 議員

能かどうかの情報を地図情報で受け取れるようなシステムを構築することができないか。
 除雪業務請負業者について、業務契約における最低補償及びオペレーターの確保や将来展望などについて伺いたい。また、冬のつらさを理由に村外に出て行かないように対策することが人口増への一つの糸口であると思うが、村長の考えを伺いたい。
 ○東出村長 答弁
 村では、冬場の気象情報などを気象庁発表の警報・特別警報などに基つき、防災無線により住民に知らせている。
 北海道開発局のホームページでは、道内における国道及び道道の通行止めなどの情報が掲示されているほか、気象庁のホームページからも雪雲の動きなど、今後の気象がある程度推定できる情報があるので、広くお知らせしたいと考えている。村のホームページを



除雪の拠点「車両センター」

見て、状況が把握できるシステムを構築できるかどうか内部で検討していきたい。
 除雪委託契約については、委託料の最低補償額を契約条項でうたっている。また、一昨年からオペレーターを増員しながら、次代のオペレーターを育成できるように体制を整備しているところである。
 近年は、自宅の老朽化と除雪のことを理由に移住される高齢者等が見られるが、生活環境などを含めて、村に住む住まないと判断をされていると考えているので、ご理解を賜りたい。

一般質問

大塚裕樹 議員

2回、11月2回、「困りごと相談会」を村の保健センターで行っているとの事だが、広報のみの周知のため相談にくる方は少ないと聞いている。

生活就労サポートセンターいしかりと住民課の連携を密にして、普段から生活困窮者の就労訓練等の相談や支援が出来るように進めることができないか村長の考えを伺いたい。

○東出村長 答弁

生活困窮者が相談しているように、村広報にも11月号から生活就労サポートセンターの事業内容等を掲載し、周知に努めている。

就労訓練の支援事業等については、相談件数とのバランスの中で関係事業者への周知、協力依頼等を実施するとともに、北海道などと協議して事業を進めていけるよう検討していきたいと考えているので、ご理解を賜りたい。

Q

生活困窮者の就労訓練について

A

道などと協議して進めていけるよう検討したい

○大塚議員 質問

今年の4月1日より生活困窮者自立支援法施行に伴い、村では、現在当別町と連携して、生活困窮者自立支援事業「生活就労サポートセンターいしかり（委託団体NPO法人ワーカーズコープ）がこの事業を行っている。具体的には10月

一般質問

藤永康夫 議員

それぞれの世代での人材育成が更に重要な時代と考えている。

先般、村連合青年団70周年の記念事業が行われたが、地域や村の発展のために活躍された方々の人材育成の場として大きく役立っていたことを強く感じた。

そこで地域と農業活性化の為に人材育成強化の施策が必要と考えるが、村長の考えを伺いたい。

○東出村長 答弁

現在、農業振興センターでは各種事業を実施しており、担い手育成・確保対策として農業後継者育成事業の「新米塾」で、道内の先進地研修と各種講習会を含め現地研修を実施している。

また、「農業塾」では、2

年間の研修講座で、水稻・小麦・大豆・農業簿記と組勘制度・先進地研修・農業機械研修などを受講し、地域農業の生産の基本となる土壌分析を行い、若い農業者の皆さんは低たんぱく米を目指して分析結果を役立

ていただき、知識と技術を習得することで、次世代農業の担い手として成長することを期待しているところである。

「農業後継者パートナー対策」においては、出会いの場として冬季と夏季に婚活交流会を行い、農業の担い手として地域の活性化にも寄与するものと期待をしているところである。

近年、道産米の人氣が高まるなど、おいしい新篠津米を販売していけるよう、村と農協が連携して担い手対策と人材育成に取り組むたいと考えているので、ご理解を賜りたい。

Q

TPP大筋合意の中、村の主産業である農業の発展のための担い手育成と人材育成について

A

村と農協が連携して担い手対策と人材育成に取り組むたい

○藤永議員 質問

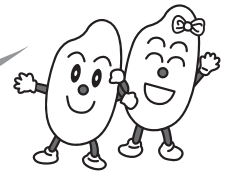
TPP（環太平洋連携協定）大筋合意がなされ日本のとりわけ北海道農業が今後大きな打撃を受ける可能性が大きくなった。村として農業現場の声を中央に訴えて施策に反映させていくとともに、担い手育成とそ



新米塾 平成27年7月に十勝方面を研修



議会の動き



TPP大筋合意に伴う 緊急中央要請活動

12月16日、17日の両日、村内関係団体（村、JA、農業委員会、商工会、新篠津・篠津中央・新えべつの各土地改良区）と合同で石塚議長と藤永副議長が上京し、農林水産省及び道内選出国會議員に対し、TPP大筋合意に伴う緊急中央要請活動を行いました。



12月16日、伊東良孝農林水産副大臣に要請書及び意見書を提出

行政常任委員会行政視察

行政常任委員会（高井博美委員長）が村内一円の行政視察を10月23日に実施いたしました。

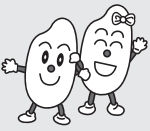
B&G体育館、のびのびプール、第5地区ふれあいセンター工事現場、道路舗装工事など18カ所の視察を行いました。



第5地区ふれあいセンター工事現場

議会日誌

- | | | | |
|---|---|---|----------------------------|
| <p>7日 行政常任委員会
（～11日）</p> <p>4日 議会運営委員会
議員協議会
第4回村議会定例会</p> <p>30日 議会運営委員会</p> <p>26日 北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会</p> <p>24日 議会運営委員会</p> <p>23日 新穀感謝祭</p> <p>22日 新篠津村連合青年団創立70周年記念式典・祝賀会</p> <p>11日 全国町村議会議長全国大会（東京都）</p> <p>10日 月新水道企業団道外研修（～13日、福岡県、山口県、広島県）</p> <p>4日 北海道後期高齢者医療広域連合議会（札幌市）</p> <p>2日 農業振興懇話会視察研修（月形町・岩見沢市）</p> | <p>9日 新篠津福祉会施設整備完成祝賀会</p> <p>11日 議会運営委員会
議員協議会
第4回村議会定例会
（最終日）</p> <p>15日 おこめちゃんとの新米試食会</p> | <p>16日 新篠津福祉会理事会
TPP大筋合意に伴う緊急中央要請活動
（～17日、東京都）</p> <p>6日 議員協議会</p> <p>7日 交通安全祈願祭</p> <p>8日 新篠津村関係機関新年交礼会</p> <p>10日 村成人式</p> <p>15日 新篠津村商工会新年交礼会</p> <p>20日 議会広報特別委員会</p> | <p>12/15 おこめちゃんとの新米試食会</p> |
|---|---|---|----------------------------|



平成27年議会開催状況

区分	開催月日	会期	委員会・議案調査	本会議日数	傍聴者数
第1回定例会	3月10日～18日	9日	7日	2日	3人
第1回臨時会	5月8日	1日	—	1日	0人
第2回臨時会	5月29日	1日	—	1日	0人
第2回定例会	6月18日～25日	8日	6日	2日	1人
第3回定例会	9月9日～18日	10日	8日	2日	28人
第3回臨時会	11月24日	1日	—	1日	0人
第4回定例会	12月4日～11日	8日	6日	2日	5人

平成27年付託案件・議決結果

付託案件		定例会	臨時会	合計	議決結果		定例会	臨時会	合計
村長提出	条例	23件	1件	24件	村長提出	原案可決	54件	7件	61件
	予算	17件	1件	18件		同意	5件	2件	7件
	決算	1件	0件	1件		承認	0件	2件	2件
	専決処分	0件	2件	2件		認定	1件	0件	1件
	その他	19件	7件	26件		合計	60件	11件	71件
	合計	60件	11件	71件		議員提出	原案可決	8件	0件
議員提出	意見書等	8件	0件	8件	合計		8件	0件	8件
請願陳情	合計	8件	0件	8件	請願陳情	採択	5件	0件	5件
	請願	3件	0件	3件		不採択	1件	0件	1件
	陳情	4件	0件	4件		趣旨採択	1件	0件	1件
	合計	7件	0件	7件		合計	7件	0件	7件

平成28年 第1回定例会のお知らせ

3月9日(水)～3月18日(金) 予定

どなたでも傍聴できます。皆さんのご来庁をお待ちしております。

表紙のコメント

1月9日、村剣道連盟恒例の鏡開き式が1月6日から始まっている寒稽古最終日に合わせて開かれ、参加した子供・大人の愛好者12人が新年の誓いを新たにしました。最初に鏡餅の前に立ち、鏡開き式に臨んだ年男の井伊峻介さん。真剣と同等の重さである模擬刀を力一杯に振り下ろし、今年1年の誓いを込めた気合いと一体になっていました。

編集後記

今年も1月から全国的に異常気象で天候が不安定ですが、今後の好天に期待するところがあります。また、原油安のお陰で燃料も安く暖房代が少なく済むことは何よりも村民の方々が喜んでいれることと存じます。平成28年安倍政権は、1億総活躍社会を提唱し、様々な施策を新たに設け目標設定をしました。我が村の関係では、TPP対策で今後数年間は補助金が増える見込みでもあります。これは、グローバル社会の中で若い人達や地方経済が頑張らなければいけないことを意味し国が挑戦をサポートします。20年間デフレ経済で成長しない中、我慢してきた私達が新たなことに挑戦することは、大変なことですが、20代、30代の若者が挑戦し活躍できる村づくりこそ本当の施策でもありますので若者の声を村政に活かせるように一同全力で邁進して行く所存であります。村民皆様方のご指導、ご支援をお願い致しまして、議会通信の更なる充実に努めて参りますのでご期待ください。(大塚 記)